

対象校No.

注1

学校コード F113310103180

注2

変更年度 令和 6年度

計画の区分： 大学の収容定員に係る学則変更

注2

大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科

認可

収容定員に係る学則変更を行った大学の履行状況報告書

学校法人大東文化学園

令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	学務部
職名・氏名	ガクムフチョウ ウエツク 学務部長・植付 あゆり
電話番号	03-5399-7333
（夜間）	03-5399-7300（内線2203）
e-mail	gakumu@jm.daito.ac.jp

(注) 1 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、該当番号を記載してください。

2 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

3 認可時から大学の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、

その下欄に（ ）書きにて、旧名称を記載してください。

例) ○○大学（旧名称：◇◇大学（平成◇◇年度より名称変更））

目次

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
①スポーツ・健康科学部スポーツ科学科	
2. 既設大学等の状況	3
3. 附帯事項等に対する履行状況等	5

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人大東文化学園

(2) 大学名

大東文化大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒355-8501

埼玉県東松山市岩殿560

(〒175-8571 東京都板橋区高島平1-9-1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合には、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	変更時	変更状況	備考
理事長	ナカゴメ ヒデキ 中込秀樹 (令和3年6月)	イシイ アツコ 石井淳子 (令和6年6月)	任期満了による改選 (令和6年6月30日) (7)
学長	タカハシ ススム 高橋進 (令和5年4月)		
学部長	フジタ カズヒロ 藤田和博 (令和5年4月)	スギモリ ヒロキ 杉森裕樹 (令和7年3月)	任期満了による改選 (令和7年3月31日) (7)
学科長等	カワモト リュウジ 川本竜史 (令和5年4月)	カトウ ユウノスケ 加藤勇之助 (令和7年4月)	任期満了による改選 (令和7年4月1日) (7)

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を

()書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告済の内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。
- ・対象学部等が複数の場合には、それぞれ記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画										定員変更年度	学生募集の停止について	備考	
	修業年限	入学定員		編入学定員		収容定員		令和6年度		令和7年度				
		変更前	変更後	変更前	変更後	変更前	変更後	春季入学	その他の学期	春季入学				その他の学期
スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科 学士(スポーツ科学)	4年	125人	165人	2年次 1人 3年次 1人 4年次 1人	2年次 1人 3年次 1人 4年次 1人	500人	660人	令和6年度	-		-			
対象年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	春季入学以外の学期区分について		収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)				
区分	春季入学 人 (-) [-]	その他の学期 人 (-) [-]	春季入学 人 (-) [-]	その他の学期 人 (-) [-]	春季入学 人 (-) [-]	その他の学期 人 (-) [-]	春季入学 人 (-) [-]	その他の学期 人 (-) [-]	春季入学 人 (-) [-]	その他の学期 人 (-) [-]	春季入学 人 (-) [-]	その他の学期 人 (-) [-]	1.17倍	1.15倍
A 入学定員	165人 (-) [-]	0人 (-) [-]	165人 (-) [-]	0人 (-) [-]	165人 (-) [-]	0人 (-) [-]	1,423 (2) [16]	1,496 (-) [14]	1,402 (2) [15]	1,484 (-) [14]	452 (2) [2]	431 (-) [0]		
志願者数														
受験者数														
合格者数														
B 入学者数							184 (2) [2]	190 (-) [-]						
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	1.11	1.15								

(注) 当該調査対象の学部の学科等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。

- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・様式は、令和2年度定員変更の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和7年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・認可後さらに定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)
- ・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・調査対象学部等の定員変更年度から報告年度まで記入してください。なお、定員変更年度以前は「-」を記入してください。
- ・()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・転入学生は記入しないでください。
- ・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
- ・なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳(予定を含む)を記載してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
- ・「収容定員充足率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- ・なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
- ・なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
- ・「(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「2 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

2 既設大学等の状況

大学の名称	大 東 文 化 大 学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	4
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考			
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					
文学部	4	630	-	2,520	-	1.00	-	-	昭和37	-				
日本文学科	4	150	-	600	学士(日本文学)	1.21	1.18	-	昭和37	(1-2年次) 埼玉県東松山市岩殿560 (3-4年次) 東京都板橋区高島平1-9-1				
中国文学科	4	70	-	280	学士(中国文学)	0.56	-	-	昭和37	同上				
英米文学科	4	130	-	520	学士(英米文学)	0.82	-	-	昭和42	同上				
教育学科	4	120	-	480	学士(教育学)	1.16	1.13	-	昭和47	同上				
書道学科	4	60	-	240	学士(書道学)	1.07	1.04	-	平成12	同上				
歴史文化学科	4	100	-	400	学士(歴史文化学)	1.01	0.99	-	平成30	同上				
経済学部	4	370	-	1,480	-	1.12	1.10	-	昭和37	-				
社会経済学科	4	205	-	820	学士(経済学)	1.16	1.14	-	昭和37	(1-2年次) 埼玉県東松山市岩殿560 (3-4年次) 東京都板橋区高島平1-9-1				
現代経済学科	4	165	-	660	学士(経済学)	1.08	1.05	-	平成13	同上				
外国語学部	4	360	-	1,440	-	0.95	-	-	昭和47	-				
中国語学科	4	70	-	280	学士(中国語学)	0.85	-	-	昭和47	(1-2年次) 埼玉県東松山市岩殿560 (3-4年次) 東京都板橋区高島平1-9-1				
英語学科	4	230	-	920	学士(英語学)	1.01	0.98	-	昭和47	同上				
日本語学科	4	60	-	240	学士(日本語学)	0.87	-	-	平成5	同上				
法学部	4	375	-	1,500	-	1.09	1.06	-	昭和48	-				
法律学科	4	225	-	900	学士(法学)	1.10	1.07	-	昭和48	(1-2年次) 埼玉県東松山市岩殿560 (3-4年次) 東京都板橋区高島平1-9-1				
政治学科	4	150	-	600	学士(政治学)	1.08	1.04	-	平成2	同上				
国際関係学部	4	200	-	800	-	0.99	-	-	昭和61	-				
国際関係学科	4	100	-	400	学士(国際関係)	1.11	1.07	-	昭和61	埼玉県東松山市岩殿560				
国際文化学科	4	100	-	400	学士(国際文化)	0.86	-	-	昭和61	同上				
経営学部	4	365	-	1,460	-	1.12	1.10	-	平成12	-				
経営学科	4	365	-	1,460	学士(経営学)	1.12	1.10	-	平成12	(1-2年次) 埼玉県東松山市岩殿560 (3-4年次) 東京都板橋区高島平1-9-1				
スポーツ・健康科学部	4	365	-	1,380	-	1.07	1.05	-	平成17	-				
スポーツ科学科	4	165	-	580	学士(スポーツ科学)	1.17	1.15	令和6	平成17	埼玉県東松山市岩殿560	令和6年度から入学定員変更(125→165)			
健康科学科	4	100	-	400	学士(健康科学)	0.95	-	-	平成17	同上				
看護学科	4	100	-	400	学士(看護学)	1.07	1.01	-	平成30	同上				
社会学部	4	200	-	800	-	1.08	1.06	-	平成30	-				
社会学科	4	200	-	800	学士(社会学)	1.08	1.06	-	平成30	(1-2年次) 埼玉県東松山市岩殿560 (3-4年次) 東京都板橋区高島平1-9-1				
大学全体	4	2,865	-	11,380	-	-	-	-	-	-				

- (注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあつては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
- なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
 - ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 - ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。
詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますので参照ください。

3 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
認 可 時 (令和5年度)	(なし)		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和6年度)	<p>○入学者選抜の適切な実施等を通じ、収容定員超過の改善に努めること。(スポーツ・健康科学部スポーツ科学科)</p> <p>○大東文化大学の既設学科等(文学部日本文学科)の収容定員超過の改善に努めること。</p> <p>○大東文化大学の既設学科等(文学部中国文学科)の収容定員未充足の改善に努めること。</p>	<p>スポーツ・健康科学部スポーツ科学科および文学部日本文学科については、令和6年度の収容定員超過に対する指摘に基づき、入学手続率等を勘案しながら定員管理の徹底に努めたが、令和7年度収容定員超過率は日本文学科が1.18倍、スポーツ科学科は1.15倍であった。文学部中国文学科については、入学定員確保のため、令和6年度は入試の改革や、学科PRのためにSNSやホームページ等で広報活動の強化に着手したが、令和7年度の収容定員超過率は0.56倍であった。(7)</p>	<p>今後の対応方針として、本学入学センターを中心に、指摘を受けた3学科の入学定員・収容定員の充足状況を定期的にモニタリングするとともに、退学・除籍者の管理等学科との情報共有を行い、適正な定員管理体制の強化を図る。また、近年、収容定員未充足が続いている中国文学科においては、受験生への情報発信の見直し、広報媒体の最適化、オープンキャンパスでの訴求力を強化するとともに、学科側では魅力的なカリキュラムの拡充等の施策を検討する。(別添【参考資料】あり)(7)</p>

(注)・「認可時」には、認可時に付された附帯事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・認可時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「(6)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(7)」と記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「(6) (7)」と記載してください。

【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(7)」と記載してください。

- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

【3 附帯事項等に対する履行状況等 参考資料】 大東文化大学入学センター運営委員会議事録(抜粋)

2025（令和7）年度第1回入学センター運営委員会議事録（抜粋）

日時：2025（令和7）年4月9日（水）午後1時15分～午後2時15分

場所：板橋校舎 2号館2階 2-0207 会議室

運営委員会委員現在数：9名（定足数6名／構成員3分の2以上）

出席者：

藤尾 健剛（日本文学科）	河野 芳英（英米文学科）
大浦あすか（社会経済学科）	堀川 信一（副学長/所長・法律学科）
佐々木康志（総合企画課）	武藤 淳一（学園総合情報センター事務室）
谷田部和宏（国際交流センター事務室）	島垣 修（入学センター事務室）

以上8名

欠席者：

植田 幹男（健康科学科）

以上1名

幹事：

折笠 昌人（入試広報課）

書記：

得丸 奈美（入試広報課） 熊谷 一輝（入試広報課）

運営委員会議案：

議案

1. 入学センター運営委員会運営委員の委嘱・副委員長選出について
2. 一般入学試験に係る出題委員等の委嘱等の委嘱について
3. 2026年度入試出題委員の再選出について
4. 2026年度入試概要（案）について
5. 2026年度入試改革案（追加）について
6. 設置計画履行状況報告書（AC報告書）における指摘事項と今後の対応について
7. 2025年度入学センター広報計画について
8. その他

報告承認事項（省略）

報告事項（省略）

始めに堀川信一所長が大東文化大学入学センター規程第9条第2項及び第11条第1項に基づき委員長兼議長となり、出席者数が同規程第11条第2項に照らし定足数6名を充たしていることを確認し、開会を宣言した。次に、前回（3月5日開催）入学センター運営委員会（以下、運営委員会）の議事録を確認し、議事録の修正などは1週間以内の申し出を伝え、運営委員会はこれを承認した。承認後、議事に入った。

【3 附帯事項等に対する履行状況等 参考資料】 大東文化大学入学センター運営委員会議事録(抜粋)

議案 1 入学センター運営委員会運営委員の委嘱・副委員長選出について（省略）

議案 2 一般入学試験に係る出題委員等の委嘱等の委嘱について（省略）

議案 3 2026 年度入試出題委員の再選出について（省略）

議案 4 2026 年度入試概要（案）について（省略）

議案 5 2026 年度入試改革案（追加）について（省略）

議案 6 設置計画履行状況報告書（A C 報告書）における指摘事項と今後の対応について
堀川信一委員長が「資料」に基づき、設置計画履行状況報告書（A C 報告書）における指摘事項と今後の対応について趣旨及び主な内容について説明した。説明後、審議の結果、運営委員会はこれを承認した。

議案 7 2025 年度入学センター広報計画について（省略）

報告事項（省略）

以上をもって、本日の議題及び報告事項の審議をすべて終了した。最後に堀川信一委員長より次回運営委員会（5 月 14 日開催）の確認後、運営委員会の終了を宣言し、午後 2 時 15 分に閉会した。

以上

2025年4月9日

各位

入学センター
所長 堀川信一

設置計画履行状況報告書（AC報告書）における指摘事項と今後の対応について

平素より本学の教育・研究活動にご尽力いただき、誠にありがとうございます。

さて、本学では2024年度入試より、スポーツ科学科において収容定員の増加（40名）を実施いたしました。これに伴い、文部科学省の定める手続きに則り、設置年度より4年間にわたり「設置計画履行状況報告書（AC報告書）」を提出することが義務付けられております。このたび提出したAC報告書に対し、文部科学省より、本学の日本文学科、中国文学科、スポーツ科学科の3学科において「指摘事項（改善）」が付されました。これらの指摘は、各学科における収容定員の超過または未充足といった入学定員管理の不適正に起因するものです。具体的な内容につきましては、別添の資料をご参照ください。このような指摘は、大学全体の設置計画の信頼性や教育の質の確保に関わる重要な課題であり、早急な改善が求められております。これを受け、入試広報課では以下の対応を実施してまいります。

【今後の対応方針】

1. 収容定員管理の徹底強化

指摘を受けた3学科を中心に、入学定員・収容定員の状況を定期的にモニタリングし、学科間での情報共有を図るとともに、適正な定員管理体制の強化を進めてまいります。

2. 中国文学科に対する広報活動の重点的強化

中国文学科においては、近年、収容定員の充足が困難な状況が続いております。このため、受験生への情報発信の見直し、広報媒体の最適化、オープンキャンパスでの訴求力を強化します。

今回の指摘事項は、入学者の質・量ともに大学の教育体制に直結するものであり、教職員の皆様一人ひとりのご理解とご協力が不可欠です。特に各学科の運営においては、今後の入試戦略や教育課程の魅力化、学生支援体制の整備など、さまざまな視点からの取り組みが求められます。引き続き、学内が一体となって改善に取り組んでまいりたく、何卒よろしくごお願い申し上げます。

以上

添付資料

【資料1】設置計画履行状況等調査の結果について

【資料2】収容定員に係る学則変更を行った大学の履行状況報告書（サンプル）

【資料3】文学部、スポーツ健康科学部の収容定員について